

議事概要

令和3年度 第2回宮城県地域訓練協議会

1 日時

令和4年3月9日(水) 13:30～15:00

2 開催場所

仙台第4合同庁舎2階共用会議室

3 結果概要

<議題>

- (1) 宮城県の雇用失業情勢について
- (2) 令和4年2月9日開催の中央訓練協議会の概要について
- (3) 質疑応答
- (4) 職業訓練の実施状況及び令和4年度の実施計画について
 - ①宮城県の実施する公共職業訓練の実施状況及び令和4年度の実施計画について
 - ②(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の実施する公共職業訓練の実施状況及び令和4年度の実施計画について
 - ③求職者支援訓練の実施状況及び令和4年度の実施計画について
- (5) 令和4年度 宮城県地域職業訓練実施計画(案)について
- (6) 質疑応答
- (7) その他

以上の議題について、報告及び説明を行い、全委員の承認を得る。

4 各委員の意見等

- ・事業者ニーズや人手不足分野への労働移動等が盛り込まれ、良い計画になっている。是非DX人材、IT人材の育成をお願いしたい。地方の中小企業においてはデジタル化による生産性の向上が課題・急務である。労働力人口が減少するなかで地方のIT人材は不足している。地元のIT人材を育成し、供給、労働移動を促していく必要がある。企業内教育も必要だが、職業訓練が重要な方策の一つと考える。IT分野の能力開発が地方の中小企業の発展に資すること、中小企業が元気になればさらなる雇用への好循環となる。
- ・DXに対応していくためにも求職者支援訓練の認定実施機関及びプログラム開拓に力を入れ、コース設定を増やしてほしい。
- ・コロナに加えてウクライナ情勢の影響により、経済環境が大きく変わり、とんでもない不景気に突入して求人が少なくなることも考えられる。こうした公的職業訓練は長期的な施策ではあるが、世の中の変化に合わせて柔軟に対応していくことが求められる。
- ・今後のデジタル教育は基本的にオンラインで良いと考える。我々も基本的なコース設計はオンライン、オンデマンドになっている。検討し次年度の計画に反映いただきたい。
- ・(宮城県説明:3年度に仙台高等技術専門校が設定した「ジョブセレクト科」に対し)非正規の方や定職に就きにくい方、自分は何ができるのかわからないでいる方に1ヶ月の中で複数の訓練科を体験してもらい、自分の適性を見極めてもらう「ジョブセレクト科」は面白い試みで、広い意味でのキャリア開発支援のコースと思う。